

## 事業完了報告書

### 調査研究期間等

調査研究期間	令和4年6月10日 ~ 令和5年3月6日
調査研究事項	<p>《委託研究：夜間中学における教育活動充実に係る調査研究》</p> <p>《委託研究Ⅱ》</p> <p style="padding-left: 2em;">広報・相談体制の充実に関すること</p> <p>《委託研究Ⅳ》</p> <p style="padding-left: 2em;">教職員の配置・研修に関すること</p> <p>《委託研究Ⅴ》</p> <p style="padding-left: 2em;">環境整備に関すること</p> <p>《委託研究Ⅵ》</p> <p style="padding-left: 2em;">その他夜間中学における教育活動充実に関すること</p>
調査研究のねらい	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 中学校夜間学級の教育内容について、入学対象者だけでなく関係者へ広く周知するための広報・相談活動の充実に向けた研究をする。</li> <li>2 先進校視察や研修会参加、講師を招聘しての研修会などにより、中学校夜間学級教員としての資質向上を図る。</li> <li>3 通訳などの外部指導員を活用した、より効果的な教育活動のあり方について研究をする。</li> <li>4 生徒の経済的負担を考慮した、より効果的で充実した校外学習のあり方について研究をする。</li> <li>5 日本語教材の指導書・指導マニュアルを作成、改善し、効果的な授業を行うこと及び中学校夜間学級未経験教員の授業力向上に関して研究をする。</li> </ol>
調査研究の成果	<p>《委託研究Ⅱ》</p> <p>校長会及び副校長会において、夜間学級の説明とともに不登校の実態を把握した。また、足立区立中学校35校すべてに夜間職員が訪問し、説明・広報活動を行うとともに、区内関係機関、関係団体、駅などの公共施設に入学案内資料を設置した。</p> <p>その結果、区内7校より不登校を経験した生徒の進学先として夜間学級への入級希望があった。</p> <p>《委託研究Ⅳ》</p> <p>今年度の全国夜間中学校研究会は3年ぶりに大会形式で実施された。新設校報告、各領域・分科会報告や配布資料を活用して、他地区における指導法などを学び、自校での指導に活かした。ま</p>

た、不登校経験のある生徒の気持ちや生徒を支える家庭、魅力ある学校づくりについて学び、教員の資質向上を図った。さらに、校内研修会を実施し、今後の夜間中学のあり方について共通理解を図った。

#### 《委託研究Ⅴ》

入学式・卒業式などの儀式的行事やその他の行事、健康診断や入学相談、教育相談週間などの際に、中国語・タガログ語の通訳を配置し、教育効果を高めた。

授業においてポケットークを日常的に活用し、生徒とのコミュニケーションを図りながら学習を進めた。また、入学時の校長面談においてポケットークを使い、学校の約束等を確認した。日本語も英語も通じない生徒にとってポケットークはとても有効なコミュニケーションの手段となった。

修学旅行においてバスを利用したことで、慣れない地域において効率よく移動することができた。短い時間の中でも多くの神社や仏閣を回り、日本の歴史に触れることができた。また、バス内でガイドの説明を受ける時間が十分に確保できたことで、日本の文化などの学習に成果が見られた。

#### 《委託研究Ⅵ》

自校で作成している教科書及び会話の指導書を改善した。教材への理解が深まることでより効果的な授業の実施が期待できる。また、日本語指導未経験者が着任した場合でも、これを活用することで指導当初から授業に支障なく対応することができ、授業力の向上が見込まれる。

NPO法人カタリバが受託した事業において、学齢生徒の受入れに係る事例創出を足立区立第四中学校夜間学級で実施した。その結果、区内不登校生徒2名が週2日、夜間学級に登校することとなり、不登校学齢生徒の受入れに係る知見を得ることができた。